

「消防士になりたい・・夢から目標 そして現実のものへ」

大東消防署救助隊 消防士 村田 章（平成21年入職）

幼い頃から私には「将来は消防士になりたい」という漠然とした夢がありました。小学生のころから野球をしていたこともあり、自分の体を動かし人の役に立てる仕事の代表格に消防士という仕事があったからです。その夢に具体的な理由が見ついたのは、偶然通りかかった火災現場で活躍する消防士の勇姿を目の当たりにしたことがきっかけでした。凄まじい音をたて燃え上がる火災現場を前にしても、放水活動や避難誘導など臆することなく立ち向かう消防士の姿に「いつか私も消防士になり人を助けたい」という明確な目標ができました。



目標になってからは、消防士になるための勉強と体力強化に努めました。そして、今思うと何よりも役立っているのは、野球で培ったチームワークであり、相手を思いやる気持ちであったと思います。

念願の消防士となり、現在は救助隊の一員として火災現場や救助現場にて人命救助を最優先に活動を行っていますが、そこでもチームワークが大切で、現場で勝手な行動をとると、自らはもちろんのこと、同僚まで危険な目に遭わせてしまいます。



救助隊は火災だけではなく、あらゆる災害に出場します。高層階の火災や災害では梯子車とともに出場し、先端のバスケットから放水活動や救助活動を行うなど様々な知識や技術を必要とします。仲間との強い信頼関係を築き、1人でも多くの尊い命を守るため、日々訓練し技術・

知識の向上に努める毎日ですが、夢が現実となった私の毎日は充実しています。

皆さんも、精一杯努力し夢を現実のものにして、一緒に充実した日々を過ごしましょう。